

ワイルドマン（持分法適用関連会社）の レジストアートトークンプロジェクト参画のお知らせ

当社の持分法適用関連会社である株式会社ワイルドマン（本社：東京都中央区、代表取締役：渡部晴人、以下「ワイルドマン」）は、株式会社レジストアート（本社：東京都港区、代表取締役社長：マブリン日出美、以下「レジストアート」）が実施するレジストアートトークンプロジェクトに参画し、レジストアートがサービスを提供する予定のVR美術館の開発を行うこととなりました。

記

1. レジストアートとは

株式会社レジストアートは、現代アートを中心として国内のトップギャラリーとのネットワークを保有し、ブロックチェーン技術による美術品登録サービスなど最新の技術を用いたサービスと、アートコンサルティング等を展開しています。

アート特化型のブロックチェーン技術を活用した所有権プラットフォーム「regist ART（レジストアート）」を提供。アート作品の価格の高騰に対するソリューションとして、高額で資産性の高いアート作品等のコレクションに小口から参加できる会員権プラットフォーム「crowd ART」も展開しています。加えて、VR美術館のプラットフォームの開発を計画しています。

また、現代アートに特化したウェブメディア ART iT を運営する株式会社アートイト、日本画や洋画に強みを持つ紙媒体である月刊美術を発刊する株式会社サンアートを傘下に持つアート事業グループです。

2. レジストアートトークンプロジェクトの概要

当該プロジェクトは、次世代テクノロジーを活用した新たなサービスを提供します。

サービスの一つとして、国内有数の有名美術館や芸術祭などをVR化することでリアルとバーチャルの融合を図ります。美術館や芸術祭に展示される現実の作品をVR空間に展示するだけでなく、一般のコレクターの現実作品のVR化とプライベートVR美術館の設置、また、個人やギャラリーなどによるNFTの売買市場も備えるプラットフォームを目指しております。

現実の美術館は、来館者にとっては現物の美術作品を直接見ることができる一方で、会期の制限があったり、展示スペースの問題で全ての作品を閲覧できないなどの、時間的、物理的制約があります。美術館側としても、展示会ごとにかかるコストは大きな問題となっております。

VR美術館では、来館者は現物の作品を見ることはできない代わりに、現実世界では表現できないような作品展示を行うことができ、いつでも、何度でも作品の閲覧が可能となります。美術館側も展示会開催のコストの軽減や、アーカイブの永久保存が可能になります。

この様に現実の美術館とVR美術館は補完関係にあり、VR美術館は来館者に関するデータや展覧会の記録といった役割を果たすために、現実の美術館にとっては、新時代のホームページ機能とアーカイブ管理、顧客データベースとも言えます。

また、一般のコレクターによるプライベートVR美術館でも、一般の来館者向けの自分のコレクション展を開催することもできますが、自分専用のアートコレクションビューワーとして楽しむこともできます。

さらに、売買されるNFTや、VR美術館に画像展示される現実作品は、任意でブロックチェーンでの登録を可能とすると共に、ブロックチェーンへの登録のみを希望する顧客にもサービスを提供します。

ブロックチェーンに作品の来歴と画像データを記録することができたため、作品の真贋問題への真実性の担保に大きく寄与いたします。

当該プロジェクトは、国内外の芸術祭やギャラリーの参加を予定しております。この経済圏における様々なサービスを円滑に運用し、速やかなデジタル決済のための暗号資産の形態であるレジストアート

トークンの発行を計画しています。

ワイルドマンは、当該プロジェクトにおける VR 美術館の開発を行います。

3. プロジェクトチームメンバー

1) アート関係者

・石川 康晴

石川文化振興財団 理事長。

アメリカの美術雑誌アートニュースが発表する「世界のトップアートコレクター200人」に名を連ねるアートコレクター。

所有するアートコレクション「石川コレクション」を岡山城やその周辺を中心に展示したプロジェクト「Imagineering OKAYAMA ART PROJECT」を主催。3年に1度、岡山市内で行われる現代アートの国際展覧会「岡山芸術交流」の総合プロデューサーを務める。

レジストアート株主。

・白井 一成

アートウィーク東京 共同創設者。

シークエッジグループ CEO、実業之日本社社主をつとめ、2021年には言論と研究のためのオンラインプラットフォーム「実業之日本フォーラム」(JNF)を設立。同年にアートウィーク東京を立ち上げる。

社会福祉法人善光会創設者。

・福武 英明

福武財団代表理事。

ベネッセホールディングス取締役。

アイスタイル芸術スポーツ振興財団理事。

大地の芸術祭のオフィシャルサポーター。

瀬戸内の直島、豊島、犬島で現代アートによる地域振興に取り組み、日本で最大規模となる8つの美術館のほか、アートギャラリーなど合計34の施設運営を運営。2010年から3年に一度開催される「瀬戸内国際芸術祭」の支援をおこなうなど、国内外の現代アートの支援、アートによる地域振興助成活動を全国規模で行う。

レジストアート株主。

2) 金融関係者

・谷家 衛

お金のデザイン取締役会長。

SDG Impact Japan 取締役会長。

CAMPFIRE 特別顧問。

東京大学卒、ソロモンブラザーズでアジアの投資責任者を務めた後、独立系最大手の一つのアスカアセットやアスカDBJ(現マーキュリア)を創業。

その後、ロボアドバイザー(THEO)を運用する、お金のデザインやESG投資のSDG Impact Japanを創業。

その他、ライフネット生命や、保険の窓口、ゴードンブラザーズジャパンなど次々と革新的金融サービス

会社を成功に 導く。

軽井沢の日本初の国際ショナルボーディングスクール UWC ISAK を構想し、発起人代表も務める。
レジストアート株主。

3) ブロックチェーン技術者

・橋本 欣典

チューリング取締役 COO。

クシム 取締役 CTO。

Web3テクノロジーズ代表取締役。

東京大学大学院経済学研究科を修了後、日本取引所グループや bitFlyer 経営戦略部での経験を経て、2019年にブロックチェーン技術や暗号理論を用いた R&D などを行うチューリングを設立。

4) 経営陣

・マヴリン 日出美

レジストアートCEO。

アートウィーク東京事務局長として、創設期より運営に携わる。

・菅原 源一郎

レジストアートCTO。

ワイルドマン取締役。

2012年にミクシィに入社後、Web技術者としてSNS「mixi」の開発・運営に携わる。2014年にビットコインに魅せられ、ブロックチェーン技術へ没頭。現在はWeb3の歴史や業界事情にも明るい技術者として様々なプロジェクトへ知識・技術提供を行う。

・中川 博貴

レジストアート取締役。

2019年より、クシム 代表取締役社長。

レジストアートの設立時より経営メンバーとして参画。

5) パートナー企業

・チューリング株式会社

ブロックチェーン技術や暗号理論を用いた R&D、システム受託開発、アプリケーション開発、暗号資産開発を行う企業です。

ブロックチェーン分野のエキスパートであるエンジニアたちが集い、秘匿演算とブロックチェーン技術を使い、新たなブロックチェーンアプリを開発しています。

クリプトやブロックチェーンに対して長年研究や開発を通じて貢献してきた技術者集団のスタートアップです。

・株式会社ワイルドマン

メタバースに必要な仮想空間のプログラミングや、VR ゲームなどのコンテンツ開発、VR 内のアバターのフルトラッキング（全身の動きを VR で再現すること）を安価に行うためのトラッキングデバイスの開発などをおこなう企業です。

日本最大のゲーム開発者向けカンファレンスでの受賞歴など、非常に高い VR コンテンツの開発ノウハウを保有しています。

・株式会社 CAICA DIGITAL

50 年以上にわたる金融機関向けシステム開発の知見を基に 2016 年よりフィンテック戦略を掲げ、ブロックチェーンや暗号資産分野に注力。

暗号資産取引所 ZAIF を傘下に持つ株式会社カイカエクスチェンジホールディングス、第一種金融商品取引業者であるカイカ証券株式会社を子会社に持つ。

4. レジストアートの概要

<https://www.reg-art.com/>

会社名：株式会社レジストアート

代表者：代表取締役社長 マヴリン日出美

所在地：東京都港区南青山 5 丁目 11 番 9 号 レキシントン青山 4F

設立：2017 年 4 月 3 日

事業：ブロックチェーン技術による美術品登録サービス、アートコンサルティング等

資本金：1 億 1,537 万円

株主：Delta Capital Resources Limited efu Investment Limited

イシカワホールディングス株式会社 株式会社實業之日本社

株式会社 CAICA DIGITAL 株式会社フィスコ

株式会社ネクスグループ 株式会社クシム 他

・株式会社ワイルドマン [URL:https://wildman.co.jp](https://wildman.co.jp)

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社ネクスグループ
管理本部 TEL：03-5766-9870